

お知らせ

記者発表資料	平成28年1月27日
配布日時	14:00

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ



平成27年度 中国地方における**重点「道の駅」**の選定について
 ～地方創生の核となる「道の駅」の優れた取組みを応援します～

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段です。

国土交通省中国地方整備局においても、平成26年度より関係機関と連携し、地方創生の核となる特に優れた取組みを選定し、重点的に応援する取組みを実施しているところです。

平成27年度は、地方創生に資する地産地消の促進及び小さな拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等に関する企画提案を募集したものです。

この度、有識者のご意見を踏まえ、全国で38箇所の重点「道の駅」が選定され、このうち中国地方では3箇所が重点「道の駅」として選定されましたのでお知らせいたします。

■重点「道の駅」 3 箇所

○産業振興

鳥取県琴浦町 道の駅 (仮称)ことうら

○地域福祉

山口県周南市 道の駅 ソレーネ周南

○交流・連携

広島県【三次市】、島根県【雲南市、飯南町】 国道54号沿線「道の駅」
 道の駅 ゆめランド布野・赤来高原・頓原・掛合の里 4 駅

<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231 (代表) : (平日・昼間)

道路部 地域道路調整官 はらだ原田 てるじ光治 (内線4118)

【担当】 道路部 交通対策課長 やすの安野 さとし聡 (内線4511)

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 ひらかわ平川 まさふみ雅文 (内線2117)

企画部 環境調整官 たお田尾 かずなり和也 (内線3114)

平成27年度 重点「道の駅」の概要

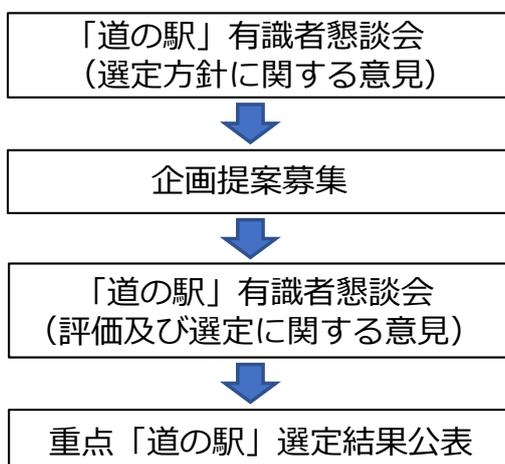
<主な取組内容>

①産業振興 地域の特産品を活かした産業振興「道の駅」
②地域福祉 地域の高齢化等に対応した住民サービス（地域福祉）を提供する「道の駅」
③交通結節点 公共交通の結節点として地域住民に交通サービスを提供する「道の駅」
④防災 災害時に高度な防災機能を発揮する「道の駅」
⑤観光総合窓口 地域の観光総合窓口となる「道の駅」
⑥インバウンド観光 インバウンド観光を促進する「道の駅」
⑦地方移住等促進 地方移住・ふるさと納税推進に貢献する「道の駅」
⑧交流・連携 地域間の交流・連携を促進する「道の駅」
※上記取組を実践する方法として 「道の駅」相互のネットワーク化により効果を発揮する「道の駅」

<支援内容>

- 自治体・関係機関による協議会等を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を作ります。
- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、直轄道路事業及び社会資本総合交付金等を活用して国土交通省が支援します。
- 重点「道の駅」の取組を広く周知します。

<選定の流れ>



「道の駅」有識者懇談会	
委員長：石田 東生	〔筑波大学 システム情報系社会工学域 教授〕
楓 千里	〔(株) JTBパブリッシング 取締役 ノジュール事業担当〕
篠原 靖	〔跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 准教授〕
根岸 裕孝	〔宮崎大学 教育文化学部 准教授〕
山田 知子	〔比治山大学 現代文化学部 教授〕
(敬称略・五十音順)	

【産業振興】(地域の特産品を活かした産業振興「道の駅」)

隣接する既存「道の駅」との機能分担・連携による、地元特産品を活用した6次産業化など地産地消の推進。

- ・ 鳥取県^{ことうらちょう}琴浦町 道の駅「(仮称) ことうら」

【地域福祉】(地域の高齢化等に対応した住民サービス(地域福祉)を提供する「道の駅」)

高齢者相談窓口の設置、バス停整備による、地域住民のサポート体制構築。

- ・ 山口県^{しゅうなん}周南市 道の駅「ソレーネ^{しゅうなん}周南」

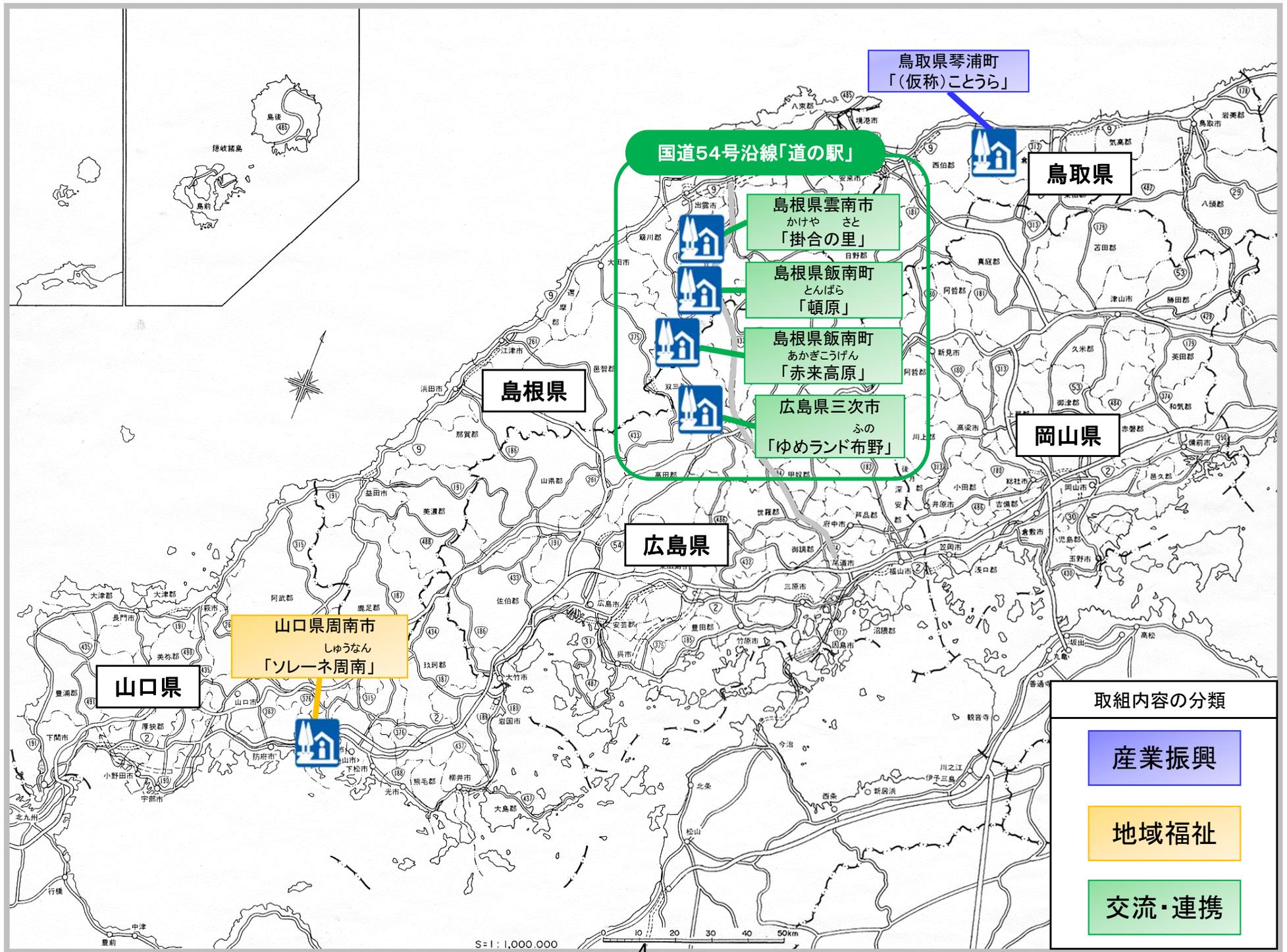
【交流・連携】(地域間の交流・連携を促進する「道の駅」)

自動車道の開通により、交通量が減少した国道54号沿線4つの「道の駅」の相互連携による、地域の暮らしを持続的に支える環境構築。

国道54号沿線「道の駅」

- ・ 広島県^{みよし}三次市 道の駅「ゆめランド^{ふの}布野」
- ・ 島根県^{いひなんちょう}飯南町 道の駅「^{あかぎこうげん}赤来高原」
- ・ 島根県^{いひなんちょう}飯南町 道の駅「^{とんばら}頓原」
- ・ 島根県^{うなん}雲南市 道の駅「^{かけや さと}掛合の里」

平成27年度選定 中国地方整備局管内の重点「道の駅」選定箇所



【産業振興】道の駅「(仮称)ことうら」

ことうらちょう
鳥取県琴浦町

- 山陰道整備後、現道沿線の活力が減退する中、移住・観光総合窓口等を設置して、地域の住民活動とも連動したホスピタリティ“おもてなし力”の向上を図る。
- 山陰道に直結する地域内外の対流拠点としての情報発信力や観光誘客力を高め、既存の地域センター型「道の駅」等との連携により、当地ならではの食素材（魚・牛乳・和牛）を活用した「琴浦ブランド」を確立に向けた地産地消を推進し、地域活力の増進を図る。



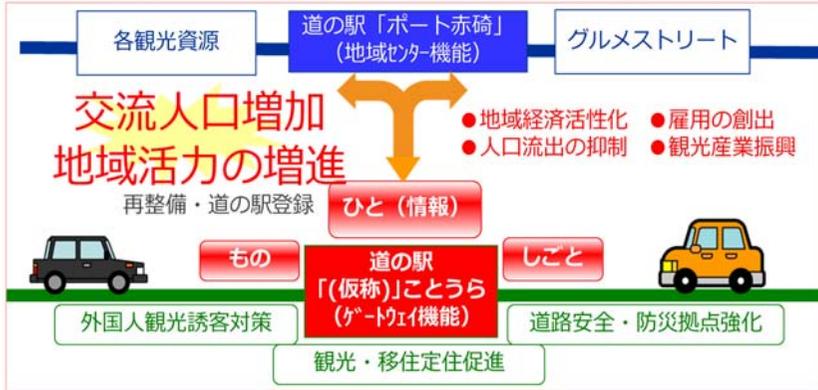
- 地域の課題**
1. 山陰道整備による現国道9号の交通量減少。それに伴う沿線商業施設の撤退による活力の衰退
 2. 観光・移住情報発信機能の欠如
 3. 人口急減・超高齢化による地域活力の衰退

観光総合窓口 観光コンシェルジュ設置	地方移住促進 移住コーディネーター設置	インバウンド観光 公衆無線LAN、多言語化	産業振興 琴浦ブランドの確立	防災 避難場所+後方支援
-----------------------	------------------------	--------------------------	-------------------	-----------------

- 道の駅登録により目指すべき目標**
1. 国道9号沿線の交流人口増加で地域活性化
 2. 「琴浦ブランド」の確立による産業振興
 3. 地域活性・産業振興による雇用の創出

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
道の駅 (仮称)ことうら	鳥取県	琴浦町	国道9号 (山陰道)	新設 (PA、物産館 は既設)	平成29年	一体型

■企画提案イメージ(近接した2つの道の駅の連携)



<提案の先駆性・ポイント>

- 近接する、山陰道に直結する新設「道の駅」と現道国道9号沿いの既存「道の駅」が、それぞれ異なる機能を活かしながら、一つの運営組織で一体的に地域活性化を行う。
- 道の駅「ことうら」に観光協会・移住定住窓口を設置し、専属で人員が常駐し、町内観光案内や既存「道の駅」への誘導のほか、移住・就労支援の窓口となり、町外からのゲートウェイ機能を担う。
- 既存「道の駅」は、地域センターとして、移動販売など地域住民の生活利便性向上を行うとともに、NPOとも連携し地域の新鮮な食材を活用した「琴浦ブランド」を確立、6次産業を推進する。

■山陰道供用後の国道9号沿線の状況



■道の駅「ポート赤碕」(地元中心の地域センター型)



■道の駅を中心として半径1kmの拠点化を図る



■琴浦グルメストリートの活動状況(琴浦ブランドの核)



琴浦町内の国道9号沿いの地元事業所有志により名付けられたエリア。地域が一体となり、琴浦グルメの魅力を全国に発信している。(現在は山陰道の供用により国道9号の交通量が激減し運営に支障が発生)

<実施内容>

- 外国人観光誘客対策((仮称)ことうら)
 - 無料公衆無線LAN環境の整備、多言語案内看板・パンフの設置
- 観光・移住定住促進((仮称)ことうら)
 - 観光コンシェルジュ・移住定住総合窓口設置、地域資源のガイド・体験・交流、ふるさと納税の提供、スマートインターチェンジ化と駐車場整備、EV充電設備等の設置
- 道路安全・防災拠点強化((仮称)ことうら、ポート赤碕)
 - 道路情報提供機能、災害時の情報発信や防災啓発教育、広域災害の支援物資輸送拠点、防災倉庫の整備
- 産業振興(ポート赤碕)
 - 6次産業として海鮮食堂、東伯和牛店。魚、牛乳を活用したグルメ・スイーツの開発(「琴浦ブランド」の確立)。漁協とJAと連携し鮮魚と農産物の移動販売基地の充実。

【交流・連携】 国道54号沿線「道の駅」

みよし しいなんちよう うんなん
 広島県三次市、島根県飯南町、島根県雲南市

- 中国やまなみ街道に並行する国道54号沿線地域は、人口減少・高齢化等が進行している過疎地域であることに加え、**中国やまなみ街道の開通に伴う交通量の減少により道の駅や店舗等の売上げが減少、地域の衰退が懸念**
- 同様の課題を抱える国道54号沿線**4つの「道の駅」が中心となり**、体験型観光イベントなど連携した取り組みを実施し、人々の交流を促進し、観光客のみならず『**地域の人が集まる道の駅**』への再生を目指す。
- さらに、地域外からの所得獲得や移住・雇用創出のため、**4駅が連携し道路・防災・観光・定住などの情報発信**を行い、**地域内外住民との対流拠点**として機能させ、**地域の暮らしを持続的に支える環境を構築する。**

交通量減により地域の衰退が懸念



閉店した「ドライブイン赤名54」

連携イベントの実施(サイクリング等)



ご縁結びしめ縄ライド

内外にむけた広域的な情報発信(道路・防災・観光・定住等)



人口減少に歯止め
 国道54号沿線地域の生活基盤を持続的に維持

地域維持のため、道の駅が公共的サービスを協働して実施



「道の駅」の設備更新、巡回バス導入等により、多彩な世代が集う「小さな拠点」として機能強化



地域内外住民との交流促進

<提案の先駆性・ポイント>

- 県境を跨いだ2市1町の4つの「道の駅」が、それぞれの施設・設備の更新、巡回バスの導入、農産品加工施設の整備により、地域の「小さな拠点」として機能を強化。
- 4つの「道の駅」が連携することで、自転車など体験型観光イベントなどの実施により、新たな交流をつくりだし人々を呼び込みむことで、移住・就労等の情報発信力が高められる。
- これらの取り組みにより、人口減少に歯止めをかけ、沿線地域の活性化に寄与する。

地域福祉 高齢者等の買い物支援	産業振興 地域製品の生産・販売拠点	交流・連携 広域的な情報発信	防災 冬期における情報共有
--------------------	----------------------	-------------------	------------------



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
ゆめランド布野	広島県	三次市	国道54号	既設	平成8年	一体型
赤来高原	島根県	飯南町	国道54号	既設	平成8年	一体型
頓原	島根県	飯南町	国道54号	既設	平成5年	一体型
掛合の里	島根県	雲南市	国道54号	既設	平成5年	一体型

ゆめランド布野



頓原



赤来高原



掛合の里



<実施内容>

- 地域の高齢化等に対応した住民サービスの提供強化
- 地域製品の生産・販売拠点としての機能強化
- 地域間の交流・連携を促進
- 道路情報等の連携発信
- 利用者ニーズに応じた道の駅基礎機能の改善

【地域福祉】道の駅「ソレーネ周南」

しゅうなん
山口県周南市

- 「道の駅」内に高齢者等の相談窓口を設置し、バス停整備等による移動支援等もあわせて行うなど、地域住民の生活サポート体制を構築。
- 新たに移動販売等の拠点を設けて交流機会を創出し、高齢化の著しい山間地の「買物弱者」、「交通弱者」対策とともに、より小口の生産物の持込・集荷を促して地産地消、高齢者の社会参画を支援する。

〈地方創生拠点としての機能〉 地域センター型



地域福祉

運送業との連携による地域サポート体制の構築

交流連携

中山間地域の交流拠点整備、新たなコミュニティ形成

交通結節点

移動販売車の増車及び路線バス専用バス停整備

産業振興

地場産業の振興及び地場産品の販路拡大

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
ソレーネ周南	山口県	周南市	国道2号	既存	平成26年	一体型

■道の駅が媒体となって周南市全域の社会活動を支援

○高齢者を元気にさせる取り組み 高齢者相談窓口の設置



- ★専門員(看護師)を配置。医療、健康、介護の相談窓口
- ★介護予防教室、サロンなどの交流の場の設置
- ★路線バス バス停を整備。交通弱者への配慮。

○オール周南を目指す取り組み



中山間地での集荷サービス
「道の駅」による取り組み



「道の駅」による買物弱者への移動販売



中山間地での集荷サービス
宅配業者の集荷ルートと連携した取り組み



周南市の特色を活かし、道の駅で次世代エネルギー供給の実験を実施

〈実施内容〉

- 道の駅に高齢者相談窓口の設置
- 中山間地域への集荷・移動販売を実施
- 中山間地域でのミニコミュニティ組織の形成
- 次世代エネルギーとして、移動式・スマート水素ステーションの誘致を検討

■周南市が抱えている課題
中山間地域で進行する高齢化
面積：約7割 人口：約1割
高齢化率：40.5%
高い地区では70%超(H26.3.31)

■道の駅

- ・交流連携拠点
- ・地域福祉拠点
- ・交通結節点



地産地消

中山間地域 ミニコミュニティの形成 (小さな拠点)

・交流連携の場
・地域福祉の場



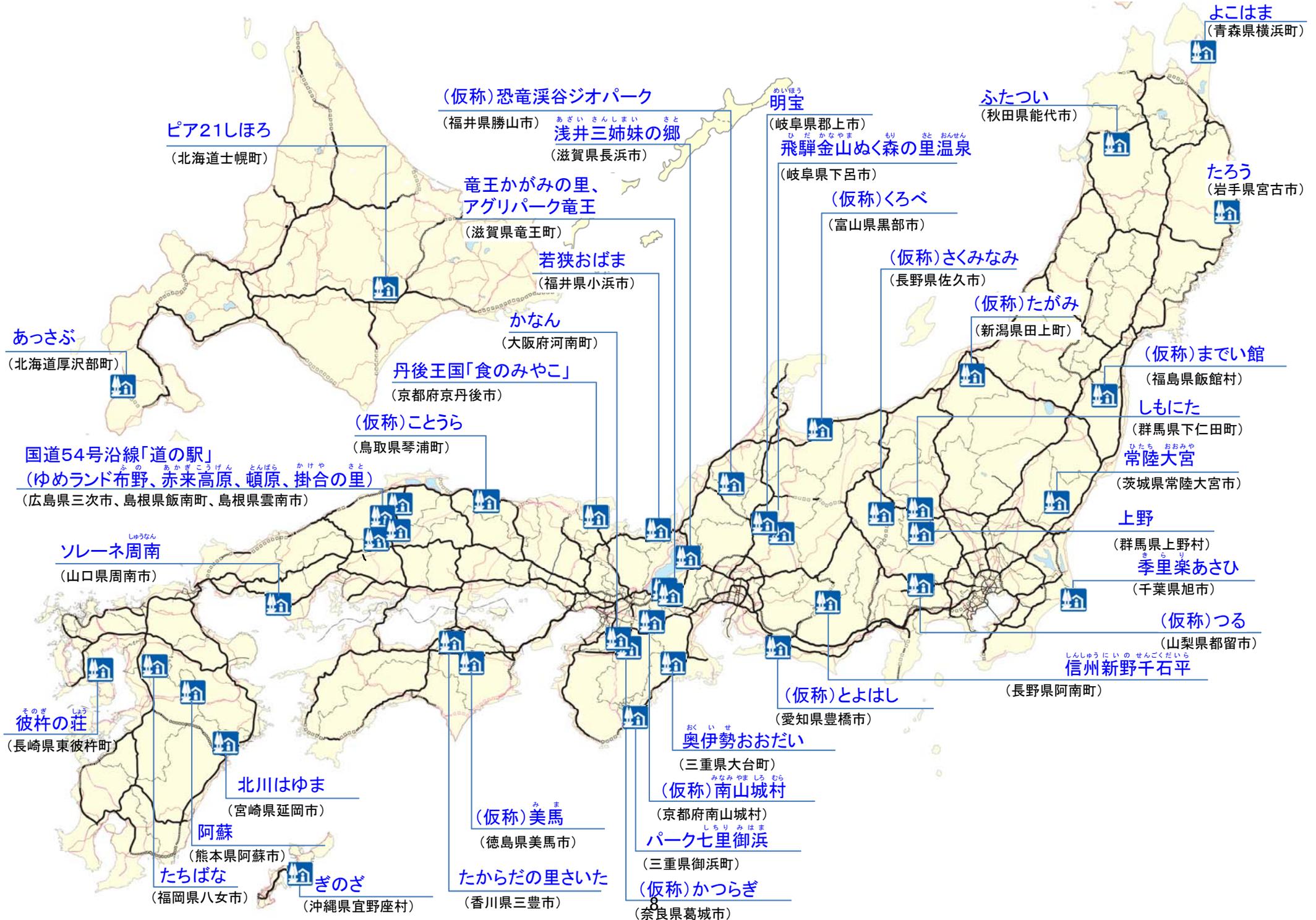
地産地消



〈提案の先駆性・ポイント〉

- 道の駅を媒体とし、中山間地域での小さな拠点づくりを形成
- 水素先進都市として、「水素」の利活用を検討

【参考】 全国の重点「道の駅」選定 38箇所



【参考】 全国の重点「道の駅」 全 38 箇所

主な取組内容	都道府県	市町村	駅名	主な特長
産業振興	岩手県	宮古市	たろう	水産物の直売や6次産業化による漁業復興・再生の拠点。
	茨城県	常陸大宮市	ひたちおおみや 常陸大宮	全国でも生産量の少ない洋野菜の地産地消及びブランド化の推進。
	山梨県	都留市	(仮称)つる	地域伝統野菜の加工品開発による6次産業化。
	千葉県	旭市	きらり 季楽里あさひ	基幹病院等と連携し「医食農同源」をテーマに、豊富な地元農水産物を活用した地産地消の推進。
	長野県	佐久市	(仮称)さくみなみ	健康長寿をテーマに、健康長寿野菜や健康長寿食の提供による地産地消の推進。
	富山県	黒部市	(仮称)くろべ	豊かな農産物と希少な海産物を活用した6次産業化の拠点。
	三重県	みはまちよう 御浜町	パーク七里御浜 しちりみはま	柑橘加工商品の開発と6次産業化の推進。
	滋賀県	長浜市	あざいさんしまい さと 浅井三姉妹の郷	起業や商品開発をサポートする「チャレンジショップ」の設置による地産地消型産業の振興。
	京都府	南山城村	(仮称)みなみやましるむら 南山城村	「村で暮らし続けるための仕掛け作り」として、特産品である南山城茶を活用した商品開発。
	大阪府	かなんちよう 河南町	かなん	なにわの伝統野菜を使った商品を開発・提供するための施設整備。
	鳥取県	琴浦町	(仮称)ことうら	隣接する既存の道の駅との機能分担及び連携し、地元特産品を活用した6次産業化など地産地消の推進。
	徳島県	みまし 美馬市	(仮称)みま 美馬	地元農林水産物の集出荷システムを活用した産地直売所の設置や地域野菜を活用した6次産業化推進。
	沖縄	ぎのざそん 宜野座村	ぎのざ	宜野座エコ農産物や人材資源等を活用し「食育・地産地消活動」の促進。
地域福祉	青森県	横浜町	よこはま	周辺施設を活用した、地方創生拠点を形成する自動車専用道路IC直結の道の駅。
	福島県	いいたてむら 飯舘村	(仮称)までい館	原発災害からの帰村時の日常生活を支える、役場や医療機関等と連携した復興拠点。
	群馬県	下仁田町	しもにた	買い物困難者への宅配サービス提供、子育てサポート、公共交通バスの結節点化などによる「小さな拠点」の形成。
	新潟県	田上町	(仮称)たがみ	道の駅周辺に公共サービスと生活サービス機能を集約。道の駅と集落地域等を結ぶ公共交通・宅配サービスの導入。
	長野県	あなんちよう 阿南町	しんしゅうにいの せんごくだいら 信州新野千石平	高齢者への宅配サービスを通じた買物支援や安否確認、町民バスと連携した中山間地の生活支援。
	岐阜県	ぐじょうし 郡上市	めいほう 明宝	NPOと連携した日用品の配達及び生活支援サービスによる高齢者支援。
	岐阜県	げろし 下呂市	ひだかなやま 飛騨金山 もり さとおんせん ぬく森の里温泉	病院・老人福祉施設等の地域福祉機能等の集約、コミュニティバスや高齢者宅配サービス等による小さな拠点機能の向上。
	奈良県	葛城市	(仮称)かつらぎ	高齢者の交通手段確保のためのコミュニティバス運行、ICTを活用した買い物支援。
	山口県	しゅうなんし 周南市	ソレーネ周南 しゅうなん	高齢者の相談窓口の設置、バス停の整備による、地域住民のサポート体制の構築。
	福岡県	やめし 八女市	たちばな	地域福祉の向上と地域住民の安全安心な地域コミュニティ再生による行政サテライト機能の充実
	長崎県	ひがしそのぎちよう 東彼杵町	そのぎ しょう 彼杵の荘	障害者支援施設が行う移動販売車による買物支援と農産物の集荷・販売システムの確立。

主な取組内容	都道府県	市町村	駅名	主な特長
交通結節点	北海道	しほろちよう 士幌町	ピア21しほろ	長距離バス、路線バス、地域コミュニティーバスの結節点として機能。
	福井県	小浜市	若狭おばま	交通結節点機能強化(バスターミナル機能拡張、パーク&ライド)による観光促進。
	三重県	おおだいちよう 大台町	おくいせ 奥伊勢おおだい	JR、高速バス、路線バスの結節点における行政、文化、、観光、医療サービス拠点の形成。
	宮崎県	延岡市	北川はゆま	コミュニティバスの乗入れや高速バスストップの設置、パーク&ライド機能を備えた乗継拠点。
防災	愛知県	とよはしし 豊橋市	(仮称)とよはし	南海トラフ地震等に備えた防災活動拠点。
観光総合窓口	福井県	勝山市	(仮称)恐竜渓谷 ジオパーク	県立恐竜博物館等を活かした観光・交流拠点。コミュニティーバスによる周遊観光。
	京都府	京丹後市	丹後王国 食のみやこ	丹後地域の観光資源、地域食材等を紹介する観光等総合窓口。
観光 ウィンド ウインド	秋田県	能代市	ふたついで	世界遺産「白神山」の玄関口として、多言語化に対応したインバウンド観光案内所(スタッフ・ガイド)を配置。
地方移住等促進	北海道	あつさぶちよう 厚沢部町	あつさぶ	日本版 GCRC との連携により高齢者移住や、新規就農による移住・定住促進に向けた情報発信や総合案内。
	群馬県	上野村	上野	移住窓口を設置するなど道の駅を中心に移住・雇用対策を展開。
	香川県	みとよし 三豊市	たからだの里 さいた	道の駅の観光ポテンシャルを活かした移住促進(移住コンシェルジュによる相談窓口設置、移住体験ツアー開催等)。
	熊本県	阿蘇市	阿蘇	消防署、医療センター等と連携した「小さな拠点」の形成。空き家バンク制度を活用し、移住定住等を促進。
交流・連携	滋賀県	竜王町	竜王かがみの里・ アグリパーク竜王	土産土法の取組を2駅(集客力のある駅と農業生産力のある駅)連携で推進。
	広島県 島根県	みよし 三次市 うんなんし いいなちよう 雲南市、飯南町	国道54号沿線 「道の駅」	自動車道の開通により交通量が減少した国道54号沿線の4つの道の駅の相互連携による、地域の暮らしを持続的に支える環境構築。